

旬な現場 ～若手技術者の紹介～

平成30年度東海環状大野神戸ICP20橋脚工事

発注者：岐阜国道事務所

受注者：日東工業株式会社



2012年入社 現場代理人 高木 聖太

～建設業に入職した理由～

高校時代は土木科で学び、土木工事が日常生活を快適にしたり、災害防止に繋がったりと人々の暮らしを良くする工事に魅力を感じていました。

土木工事の中で工事全体を管理する施工管理に興味を持ち建設業へ入職しました。



～工事概要～

本工事は、愛知・岐阜・三重3県をつなぐ東海環状自動車道の中の大野神戸IC～糸貫ICへとつながる橋梁下部工を施工する工事です。

現在は大野神戸IC開通に向けた工事と同時に橋梁基礎工事を行っています。



～仕事のやりがい～

建設業は規模の大きい工事が多数有り、各現場毎に周辺環境や現場特性が違う為、今でも困惑する事が多いです。ですが一つ一つの問題を発注者の方や周辺業者、協力業者と一緒に乗り越えていく事で人と人との繋がりの大切さを強く感じます。

工事が完成した時には苦労した分、大きな達成感と自分の成長を実感でき人に誇れる大切な仕事だと思っています。



～建設業界入職を希望する皆様へ～

建設業は良くないイメージもあると思いますが、現在ではICT化や現場の快適化など、現場環境がより良く改善されています。建設業界の人手不足は他の業種に比べ、深刻な問題です。若い世代はこの建設会社においても貴重な存在であり、活躍できる場面がたくさんあると思います。

これからの建設業界を若い世代で引っ張って行きましょう。